

令和5年第23週【令和5年6月5日(月)～令和5年6月11日(日)】

鹿児島市感染症情報

発行元：鹿児島市保健所

ホームページ <http://www.city.kagoshima.lg.jp> >健康・福祉 >健康・医療 >感染症、流行疾患 >鹿児島市感染症情報（週報・月報・四半期報）

感染症発生動向調査とは…

1981年（昭和56年）から全国で行われている調査事業で、1999年（平成11年）4月に「感染症法」が施行されたことにより、感染症対策の一つとして位置づけられ、感染症の発生状況を毎週、把握・分析し、情報提供することにより、感染症の発生及びまん延を防止することを目的として行われています。

調査対象の疾患は「全数把握対象疾患」と「定点把握対象疾患」に分けられています。

- ・全数把握対象疾患：すべての医療機関において、その疾患を診断した場合に届け出るもの
- ・定点把握対象疾患：指定された医療機関（定点医療機関）において、その疾患を診断した患者数を毎週報告するもの

●全数把握対象疾患の届出状況（患者を診断した医師から届出があった疾患）

類型	届出数
1類感染症	届出はありません
2類感染症	結核3例（肺結核3例）
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1例
4類感染症	届出はありません
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1例、梅毒1例

●定点把握対象疾患の届出状況（市内の指定医療機関（定点）からの報告）

- ・指定医療機関数（定点）：インフルエンザ/COVID-19定点 23、小児科 13、眼科4、基幹1

定点あたりの患者数（上位5疾患）を掲載（全体の数は次ページに掲載）

※定点あたりの患者数＝1週間あたりの1医療機関の患者数の平均

順位	疾患名	前週	今週		警報・注意報等
1	ヘルパンギーナ	7.69	12.77	↑	警報開始基準値：6 注意報開始基準値：—
2	感染性胃腸炎	14.77	11.54	↓	警報開始基準値：20 注意報開始基準値：—
3	COVID-19	6.70	10.04	↑	警報開始基準値：— 注意報開始基準値：—
4	インフルエンザ	5.96	7.78	↑	警報開始基準値：30 注意報開始基準値：10
5	RSウイルス	5.77	6.77	↑	警報開始基準値：— 注意報開始基準値：—

注目の
感染症

ヘルパンギーナの患者報告数が、過去3か年において最多となっています。
COVID-19の患者報告数が、5週連続で増加しています。

流行の
傾向等

ヘルパンギーナは夏風邪の代表的疾患であり、発熱と口腔粘膜にあらわれる、水疱性発疹を特徴とします。潜伏期間は2～4日間で、主な感染経路は「飛沫感染」と「接触感染」です。引き続き、手洗い、うがい等の基本的な感染対策をお願いします。

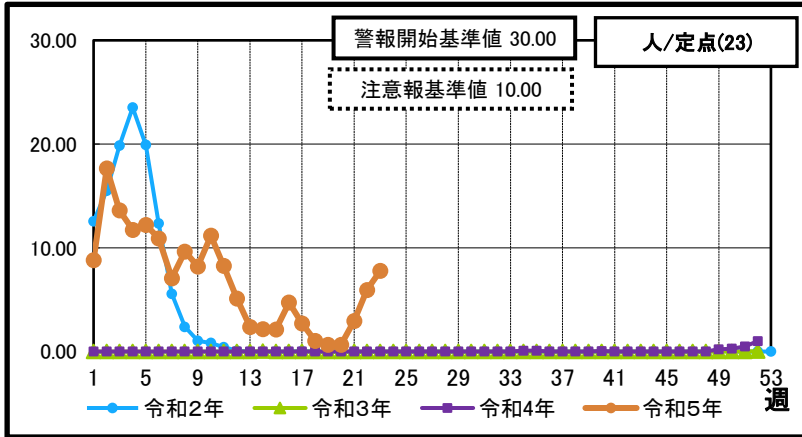
●疾患別報告数・定点当たり報告数（色の付いている疾患が定点当たり上位5位）

定点種別	前週比	疾患名	週	23	22	21	20	19	18	令和5年 報告数合計
				(本週)	(前週)	(2週前)	(3週前)	(4週前)	(5週前)	
インフルエンザ	△	インフルエンザ	報告数	179	137	68	15	15	23	3,605
			定点当たり	7.78	5.96	2.96	0.65	0.65	1.05	—
COVID-19	△	COVID-19	報告数	231	154	94	78	48		605
			定点当たり	10.04	6.70	4.09	3.39	2.09		—
小児科	△	RSウイルス	報告数	88	75	94	78	62	80	999
			定点当たり	6.77	5.77	7.23	6.00	4.77	6.15	—
	▼	咽頭結膜熱	報告数	20	28	22	16	15	14	248
			定点当たり	1.54	2.15	1.69	1.23	1.15	1.08	—
	▼	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	26	32	29	30	22	22	337
			定点当たり	2.00	2.46	2.23	2.31	1.69	1.69	—
	▼	感染性胃腸炎	報告数	150	192	224	204	194	123	3,936
			定点当たり	11.54	14.77	17.23	15.69	14.92	9.46	—
	▼	水痘	報告数	1	3	5	2	6	1	30
			定点当たり	0.08	0.23	0.38	0.15	0.46	0.08	—
	=	手足口病	報告数	24	24	32	12	5	5	227
			定点当たり	1.85	1.85	2.46	0.92	0.38	0.38	—
	▼	伝染性紅斑	報告数	0	2	0	0	0	1	8
			定点当たり	0.00	0.15	0.00	0.00	0.00	0.08	—
△	突発性発疹	報告数	11	7	10	8	5	9	154	
		定点当たり	0.85	0.54	0.77	0.62	0.38	0.69	—	
△	ヘルパンギーナ	報告数	166	100	88	55	16	11	517	
		定点当たり	12.77	7.69	6.77	4.23	1.23	0.85	—	
=	流行性耳下腺炎	報告数	3	3	1	0	3	2	33	
		定点当たり	0.23	0.23	0.08	0.00	0.23	0.15	—	
眼科	=	急性出血性結膜炎	報告数	0	0	0	0	0	0	0
			定点当たり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
=	流行性角結膜炎	報告数	0	0	0	1	0	0	5	
		定点当たり	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	—	
基幹	=	細菌性髄膜炎	報告数	0	0	0	0	0	0	0
			定点当たり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
	=	無菌性髄膜炎	報告数	0	0	0	0	0	0	0
			定点当たり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
	=	マイコプラズマ肺炎	報告数	0	0	0	0	0	0	0
			定点当たり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
	=	クラミジア肺炎	報告数	0	0	0	0	0	0	0
			定点当たり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
	=	口タウウイルス	報告数	0	0	0	0	0	0	0
			定点当たり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—
報告数合計				899	757	667	499	391	291	10,704

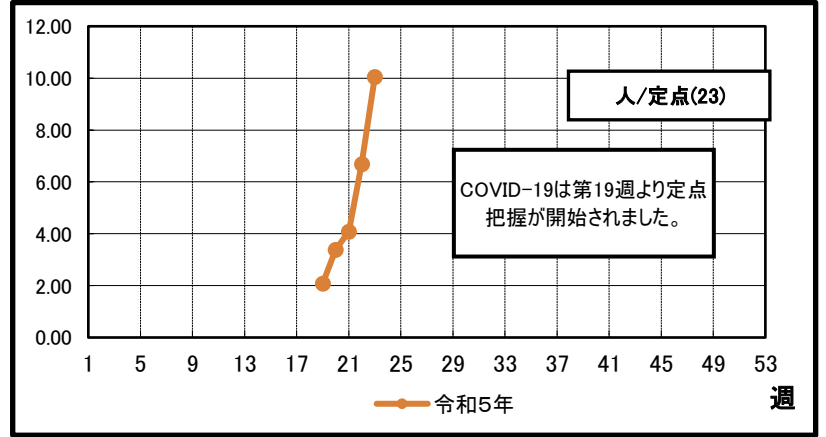
※「前週比」欄において、「△」は報告数の男女合計が前週比増加、「=」は横ばい、「▼」は減少を示す。

● 各疾病の報告状況の推移 (比較 その1)

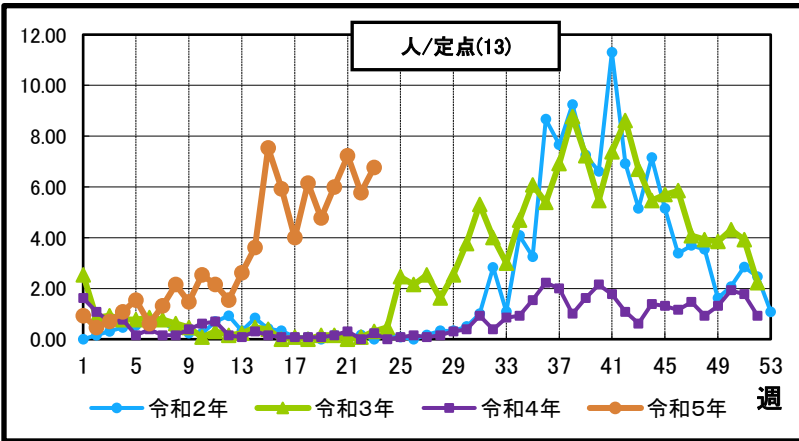
【 インフルエンザ 】



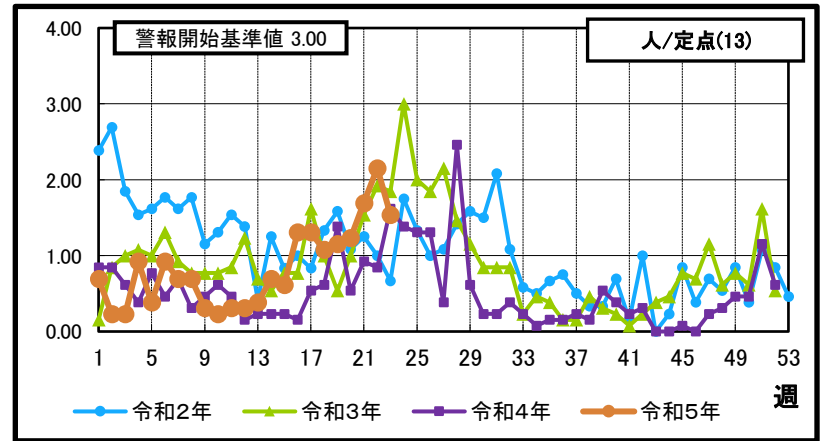
【 COVID-19 】



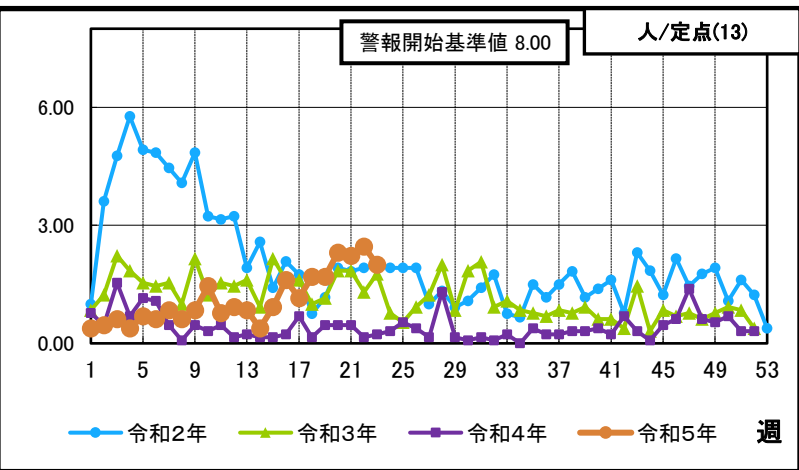
【 R S ウイルス感染症 】



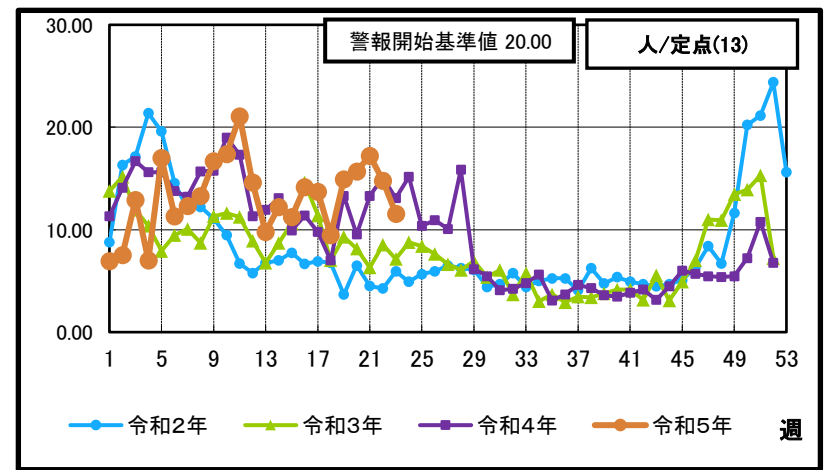
【 咽頭結膜熱(プール熱) 】



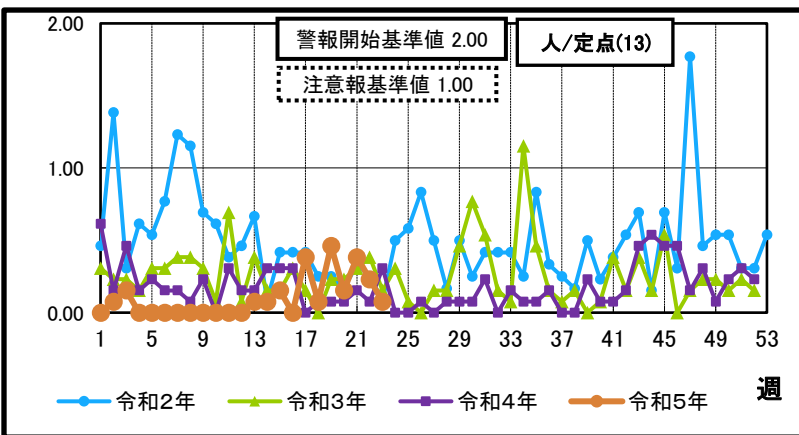
【 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 】



【 感染性胃腸炎(おう吐下痢症) 】



【 水痘(みずぼうそう) 】



縦軸の値

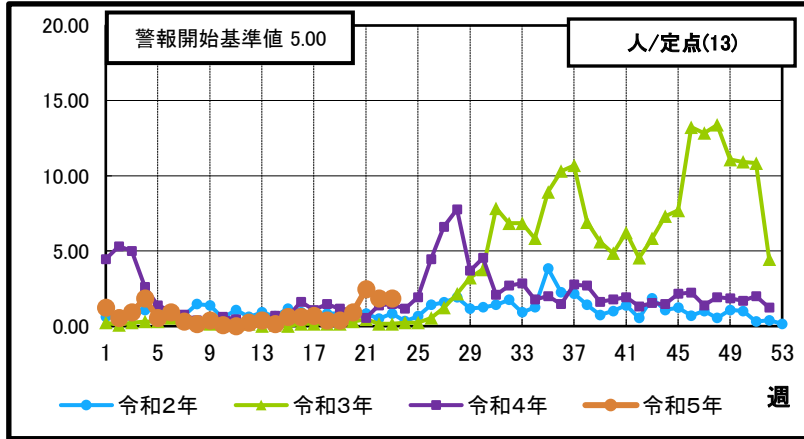
⇒ 報告数 ÷ 報告義務がある医療機関数

横軸の値

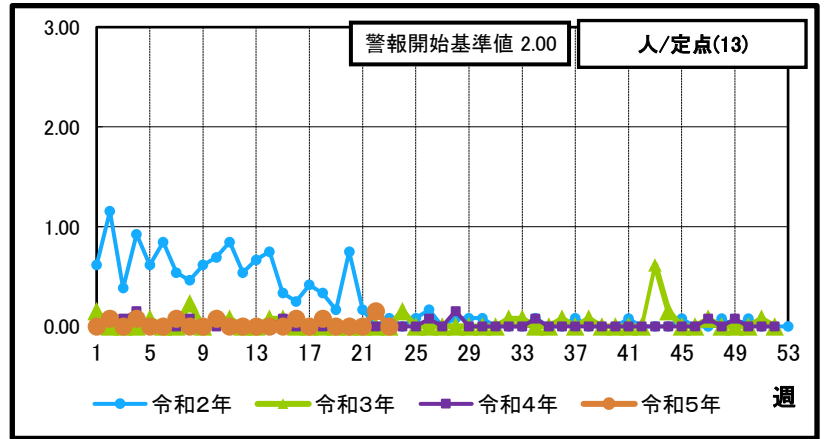
⇒ 報告を受けた週

● 各疾病の報告状況の推移 (比較 その2)

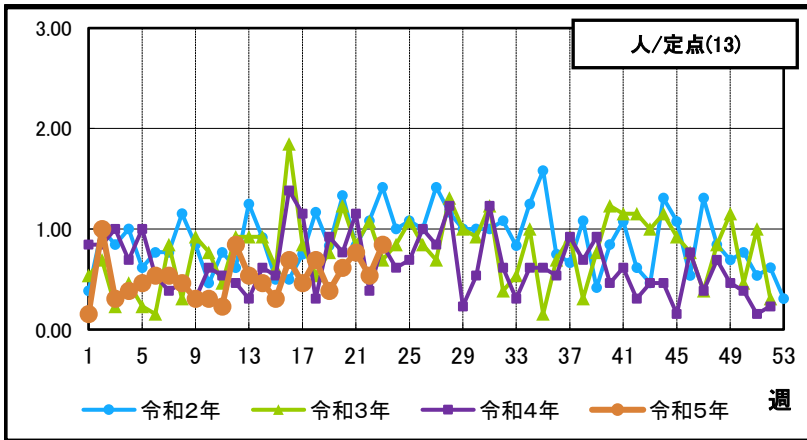
【 手 足 口 病 】



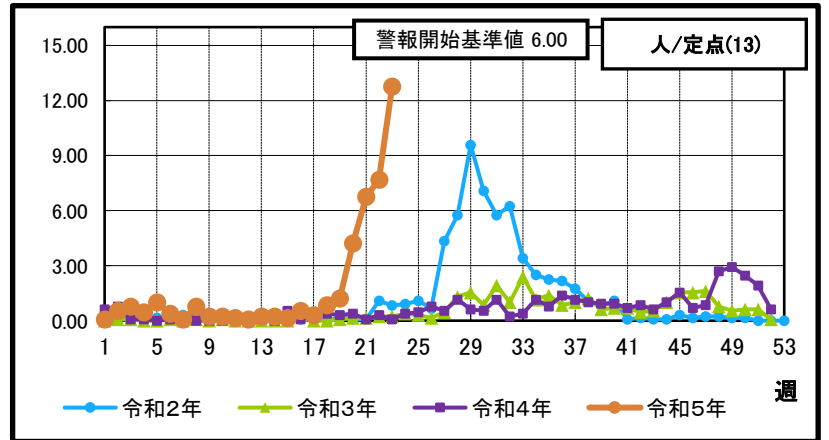
【 伝 染 性 紅 斑 (り ん ご 病) 】



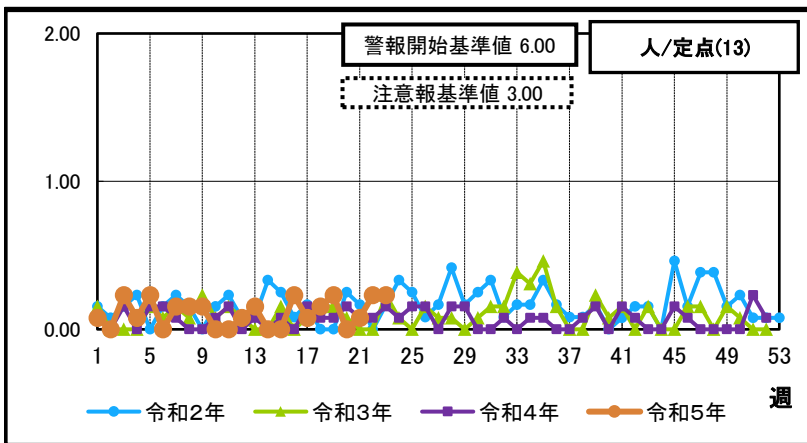
【 突 発 性 発 疹 】



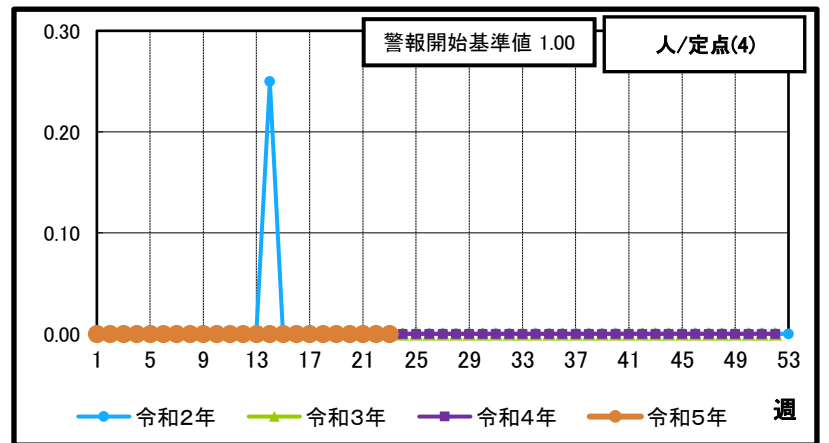
【 ハ ル パ ン ギ ー ナ 】



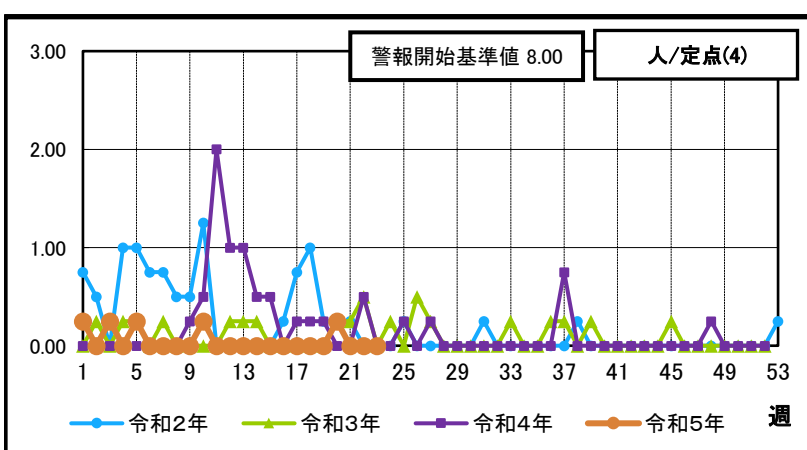
【 流 行 性 耳 下 腺 炎 (お た ふ く か ぜ) 】



【 急 性 出 血 性 結 膜 炎 】

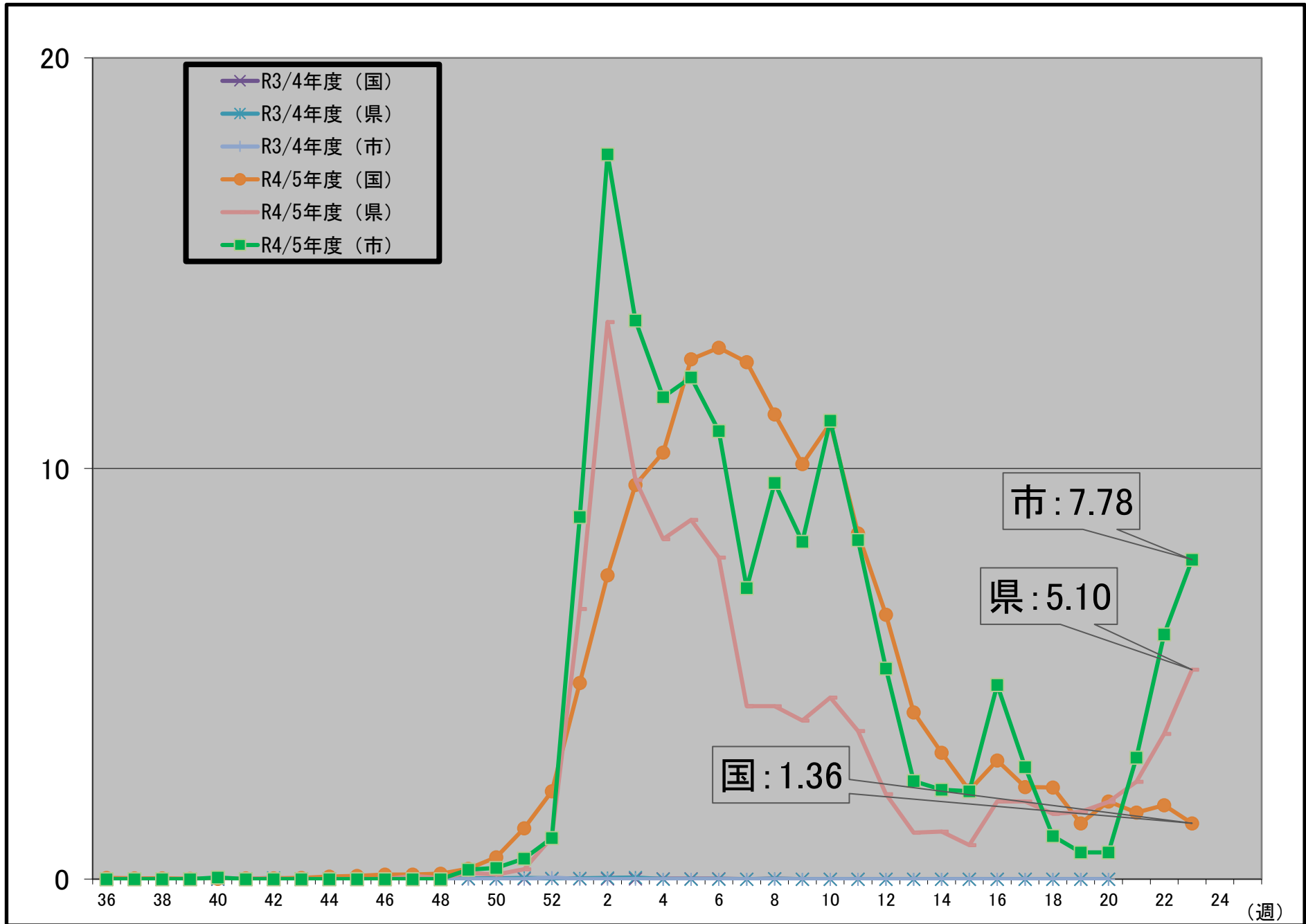


【 流 行 性 角 結 膜 炎 】



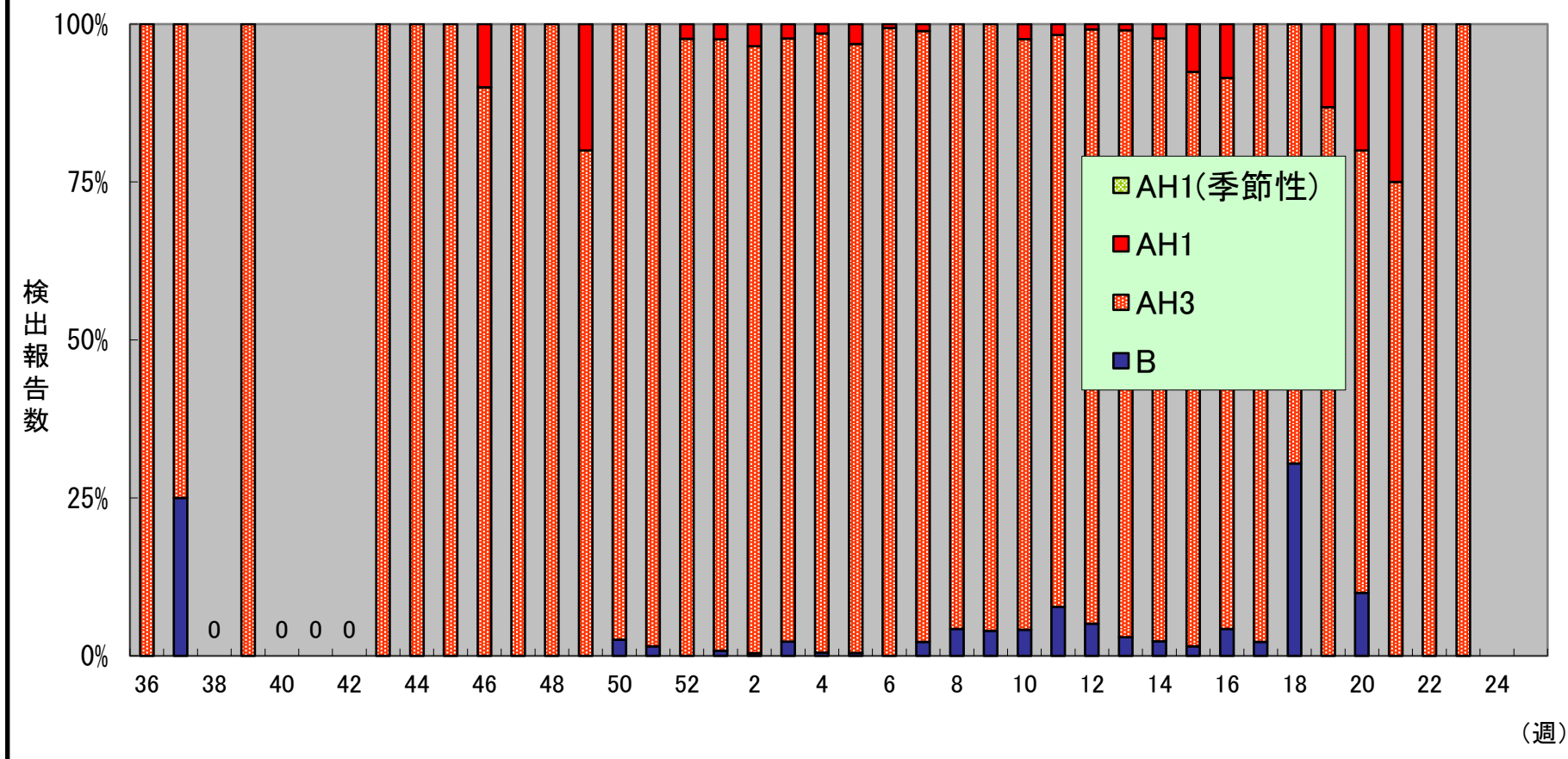
縦軸の値
⇒ 報告数 ÷ 報告義務がある医療機関数
横軸の値
⇒ 報告を受けた週

R3/R4/R5シーズンにおけるインフルエンザの発生状況(1定点あたりの報告数)



インフルエンザの発生状況(参考資料)

全国の地方衛生研究所で確認されたインフルエンザウイルスの検出割合の推移
 (病原体検出情報システムの統計情報より作成)



※感染症発生動向調査システムのインフルエンザ罹患数推計データについては、確定までに時間がかかるため、前週以前の情報が変更される可能性があります。今後の週報でご確認ください。